



西林寺庭園 雪景色



西林寺だより

発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
Eタウンページ
西林寺

つえ 杖のことば

宝の山に入りて
手を空しくして
帰ることなかれ



野間家の墓石

西林寺の沿革(その4)

14世紀南北朝時代の初め、熊谷蓮覚が築いた矢野城(保木城)に、文安2(1445)年、尾張国の野間重能が入城します。野間氏は大内氏と結びつきながら、その勢力は現在の海田町周辺から呉市、更には音戸の瀬戸まで及びますが、弘治元(1555)年、毛利元就に滅ぼされます。その時、野間氏は降伏したにもかかわらず、一族郎党は城外に出され、山麓の菩提寺で首を刎ね、皆殺しにされるといふ悲惨な歴史がありました。西林寺が寺地を移転して、40年も経ない元禄元(1688)年に再移転したのには、このような時代背景に基づく地域住民の要請があったといえましょう。西林寺寺族の墓地に、野間家の墓石が残されていることも、お寺のある地域を「刎条」と呼ぶのも、この歴史に由来するものです。

仏教壮年会 あれこれ

坂町三カ寺仏教壮年会交流会



宝海寺住職のご法話

10月11日(水) 横浜宝海寺において、宝海寺・西昭寺・西林寺三カ寺の第6回仏教壮年会交流会を行いました。勤行の後、宝海寺ご住職よりご法話をいただきました。講題は「罪障功德の体となる」でした。引き続き、各寺仏教壮年会の活動報告をし、意見交換をして親睦を深めました。

安芸北組グランドゴルフ大会



10月19日(日) 約50名参加のなか、西林寺会員6名が参加しました。畑賀公園でグランドゴルフを行い、引き続き、品秀寺本堂にてお勤め・懇親会・表彰式を行いました。西林寺会員では山本政信顧問が2位で大廻邦雄会長が3位の好成績でした。

第2回法光寺仏教壮年会との交流会



10月20日(金) 皆実町法光寺の『生きがい法座』昼席に会員8名がお参りしました。昼席のご講師は西林寺ご住職で「葬式や法事をしないと、バチがあたるの?」という講題で、ご法話をいただきました。その後、引き続き、各々仏教社会の近況報告をし、交流を深めました。

境内 松の木剪定作業

11月に松の剪定作業を行いました。秋の剪定は時間を要し、何日も掛かりました。



仏教壮年会行事予定

一月 八日・新年互礼会
一月十三日・ご正忌前おみぎき
二月十八日・安芸北組研修会
三月 三日・安芸教区公開講座

中央仏教学院通信同窓会報告

11月2日(木) 小屋浦西昭寺にて、29年度坂分会総会が行なわれました。西昭寺ご住職のご法話の後、総会において坂分会会長が幸野輝彦氏から林昭治氏に引き継がれました。

法座案内

御正忌報恩講
一月十五日(月) 昼席より
十六日(火) 昼席まで
御伝鈔拝読 十五日夜席(上巻)
十六日昼席(下巻)
講師 小屋浦 西昭寺 河野法誓師
御紐解法座
二月二十二日(木) 昼席より
二十三日(金) 昼席まで
講師 安佐北区深川 明光寺 牛尾かおり師
春季彼岸会
三月二十一日(水) 昼席・夜席
講師 山県郡北広島町 本立寺 朝枝暁範師
朝席7:00~・昼席13:15~・夜席19:30~

編集後記

11月より客殿の改修工事が始まり、法座のご講師接待が充分にできないため、法座日程が不規則になります。町内の掲示板や『西林寺だより』でご確認ください。工事の進捗状況は、次号より随時、ご報告いたします。また、『西林寺だより』へのご意見、ご感想をお気軽に寄せてください。

聞思録(もんしりく)

また新しい年を迎えました。「一年が経つのが早いですね。年をとるわけですわ。」とよく耳にします。「年をとる」とは、一般には「老いてゆく」という意味です。同義に「年を重ねる」という言葉がありますが、少し意味合いが違います。「年をとる」というのは、ただ時間が過ぎて自然と年老いていくことですが、「年を重ねる」というのは、経験の積み重ねを通して、若い時にはわからなかったけれども、大切な気づきをいただき、成長してきた実感をとまなう表現です。例えば、病気になるって初めて周りの人のやさしさや健康のありがたさに気づくなど、「お陰さま」のいのちを生かされてあることに思いあたり、年をとることを肯定的な意味合いで用いる時に使います。

篤信のご門徒から「年をいただく」という表現を聞いたことがあります。これは決してこの人生を仏や神にいただいたという意味ではありません。仏法をご縁に心を育てながら、自分の人生丸ごと引き受けられることができた人の言葉です。思い通りにはならない理不尽に感じることも、変えられないものは自分の人生として引き受ける勇気を、仏さまのお育て(智慧)の中にいただいてゆかれた人の言葉

です。「年を重ねる」という実感をもっと深く受け止めてあり、「仏さまに救われる」とはそういう体験と連動するものです。

ある本の中で「請求書の宗教ではなく、領収書の宗教をもって生きてゆきたい」という一文に出会いました。欲望を満たす方向に人生の本当の満足は訪れません。人生をいただきものと受け止め、思い通りにならない切なさや辛さ、寂しさを縁として、人生の大切な意味で出会う歩みを進めたいものです。

一生懸命に頑張ったけれど、思いがかなえられなかったということはよくあります。そこに絶望観を抱いたり、「自分の人生とは何なのだろう」と思うこともあるでしょう。しかし、これまでは頑張った自分ばかりに執らわれていた自己中心の思考が、ここまで頑張れたのは周りの人々の理解や励まし、支えがあったからだったという現実には思いあたるなら、ものの見え方が変わってきます。そうしたことの繰り返しこそが、心を育てて初めて受け止められる大切なもの(宝物)との邂逅につながり、価値観の転換を促すのです。

杖のことばの「宝の山に入りて、手を空しくして、帰ることなかれ」とは、この人生そのまま、宝の山の中にいるということであり、この境遇で死を前にしても色あせない確かなものに出遇えという教示です。年の初めに心して味わいたいものです。

西林寺門信徒会館

西林寺本堂の階下には、二つの多目的ホールがあるのをご存知ですか？

舞台のあるホールと御内仏のある和室があります。



(ホール)

ラクシオンや仏教壮年会主催の納涼ビアガーデンが開催される場所もこの多目的ホールですが、法事後の「お斎(会食)」にも利用されています。



(和室)

また、お通夜や葬儀の会場としても利用できます。門徒総代会で利用規定が定まっていますので、詳細は門徒総代又は西林寺まで。

蓮華の会バザー報告

10月23日(月)永代経法座昼席終了後、門信徒会館にて手作りバザーを開催しました。多数の参集いただきありがとうございました。坂町社会福祉協議会へ売上金の一部、並びに西林寺門信徒会館にオーブンレンジとハンドミキサーを寄付させていただきました。

仏教婦人会 あれこれ

仏教婦人会主催報恩講

11月23日(木)昼席から25日(土)朝席まで、西林寺住職をご講師に報恩講法座が開かれました。初日に行うお斎の接待は、客殿工事のため、手作り弁当をお出しすることができませんでしたが、スイーツなどを手作りして約100人の皆さまに召し上がっていただきました。3日間の法座には、西林寺門徒の皆さまをはじめ、他寺の門徒の方もお参りをいた



手作りスイーツ



お斎



住職のご法話



仏前結婚式DVD鑑賞



いただきました。お斎の後、西林寺で行われました仏前結婚式のDVDを鑑賞させていただきました。雅楽の生演奏のなか、厳かに行われる仏前結婚式に改めて感動しました。引き続き、ご住職のご法話を聴聞いたしました。日頃、慌ただしく明け暮れしている私たちですが、この報恩講をご縁として、



お手伝いしていただいた皆さま

親鸞聖人のご遺徳を偲び、感謝する日々を過ごしていきたいものです。

仏教婦人会行事のご案内

一月十三日(土) 御正忌前おみそぎ
二月十一日(日) ダーナの日
三月一・二日(木・金) 念仏奉仕団本山参拝
皆さま、ご参加をお願いします

お念珠作り講習会の案内

西林寺仏教婦人会・仏教壮年会合同で念珠作りの講習会を行います。自分で作ってみませんか。また、お手持ちの念珠の修理もできます。

日時…平成30年2月26日(月) 13時から
場所…西林寺門信徒会館
費用…3千円・(修理)千円
申込期限…1月31日(水)
詳しくは仏教婦人会役員・仏教壮年会会員



または、西林寺にお尋ねの上、西林寺本堂にも置いてあります申込用紙で申し込みください。